

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区秋季大会

28年9月10日 時刻 9:30

男子【準決勝】

四条畷西

60

20-16

13-13

11-13

16-16

58

樟風

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑦⑧⑨⑩でスタート。

白⑥のドライブからのカウンタープレーでゲームが始まった。黒は④のミドルと、⑧⑨の2on2からの合わせで得点する。しかし、白のカウンタープレーが多く、白がゲームの流れをつかんだ。黒も速攻などでやり返すが、⑦のポストプレーが失敗し、20-16で1Q終了。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑦⑧⑨⑩でスタート。

白はドライブからのカウンタープレーで得点を伸ばすも、黒も積極的なDFからの速攻が効き始め、23-24と逆転する。白のタイムアウト終了後、黒のDFミスから白④⑥のドライブとスリーで得点する。33-29と白リードで2Q終了。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑦⑧⑨⑩でスタート。

白⑧の速攻でスタートするが、黒④と⑧も速攻し、やり返す。黒は積極的なDFが続き、白は速攻のミスもあり攻めきれない。白④のドライブと⑨のスリーで得点するが、黒はオールコートDFから⑦のインサイドプレー、⑨のドライブと得点し、黒が白に追いつき、白リードで44-42で3Qを終える。

第4PD

白④⑥⑦⑨⑩、黒④⑦⑧⑨⑩でスタート。

両チーム1on1から得点を重ねる。白④は黒のカバーDFにつかまり得点できない。黒は⑦⑧⑩のポストプレーとミドルシュートで逆転に成功する。しかし、白⑤のスリー、④と⑦のスクリーンプレーでやり返し、60-58で白が逃げ切った。

(戦評/寝屋川五中:山田)

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区秋季大会

28年9月10日 時刻 14:30

男子【三位決定戦】

四条畷南	51	{	15-15 9-19 16-12 11-10	}	56	樟風
------	----	---	---------------------------------	---	----	----

第1PD

白④⑤⑦⑧⑨、青④⑥⑦⑧⑨でスタート。

青は速攻からファールをもらい、フリースローで点数を重ねる。対して白は④、⑦とチームの得点源が確実にシュートを決める。その後も青は外からのドライブ、白は徹底してインサイドを攻め、1ピリオドを15-15の同点で終える。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧、青④⑦⑧⑨⑩でスタート。

青が激しいDFからの速攻で突き放しにかかる。一時は19-34で15点差をつけるも、テクニカルファールのフリースローから流れは白に。前半24-34の10点差、折り返す。

第3PD

白④⑤⑦⑧⑨、青④⑥⑦⑧⑨でスタート。

第3ピリオドの出だし、白は④、⑦の得点で3点差までつめる。青はシュートが入らない時間がつづく。残り4分で白のタイムアウト。後は一進一退の攻防で、40-46、6点差で第3ピリオドを終える。

第4PD

白④⑤⑦⑧⑨、青④⑥⑦⑧⑩でスタート。

どちらもパスミス、シュートミスが目立ち始める。体力的にも苦しい時間帯。どちらもインサイドで得点を狙う。青は④、⑥、白は④、⑦がタフショットを次々と決め、一進一退の攻防。最後は青がリードを守り、51-56で白樟風が中央大会進出を決めた。

(戦評/枚方市立杉中:大沼)

戦評用紙

平成 28 年度

北河内地区秋季大会

28年9月10日 時刻 14:30

男子【決勝戦】

桜丘	65	{	15-11 10-4 20-6 20-14	}	35	四条畷西
----	----	---	--------------------------------	---	----	------

第1PD

大会3連覇を狙う桜丘と前回準優勝、リベンジに燃える四条畷西の対戦。

白のユニフォーム桜丘は④⑤⑥⑦⑧、青のユニフォーム畷西は④⑤⑥⑦⑧でスタート。開始早々、畷西は⑧の3Pで先生、桜丘もすぐさま⑤→⑧のハイロー、④の3Pで応戦する。桜丘はボールムーヴメントからのドライブや合わせ、⑤のハイポストからの多彩なオフェンス展開、畷西は④を起点として1on1やアウトサイドシュートを放つも、両者なかなかシュートが決まらず、15-11で1Q終了。

第2PD

桜丘④⑤⑥⑧⑩、畷西④⑤⑥⑦⑧でスタート。

桜丘はエンドプレーや④の1on1で得点、対する畷西はボールがうまくまわらず、単発の1on1中心のオフェンスになってしまう。桜丘もなかなかシュートが決まらないものの⑤→⑧のハイロー、オフェンスリバウンドからのセカンドチャンスでの得点や1Qには見られなかった速攻が出始め、少しずつペースをつかむ。25-15で2Q終了。

第3PD

桜丘④⑤⑥⑦⑧、畷西④⑥⑦⑩⑪でスタート。

3Q開始早々、桜丘は⑥がレイアップを決めると、そこからスターター全員が連続で得点を決め、一気に流れに乗る。さらに連続速攻で畷西を突き放す。畷西は桜丘のチームディフェンスを突破できず、点が止まってしまう。45-21で3Q終了。

第4PD

桜丘④⑤⑫⑮⑱、畷西④⑥⑦⑩⑪でスタート。

桜丘は⑤の連続得点や⑫の1on1など、畷西の足が止まったすきを見逃さずオフェンスの手をゆるめない。速攻やショートコーナーを起点としたオフェンスを中心に得点を重ね。65-35で4Q終了。流れの悪いときも自分たちのバスケットをやり続けた桜丘が、見事優勝に輝いた。

(戦評／寝屋川十中：池嶋)